

表1-9-1 BS放送チャンネルの割り当て (2007年12月より)

チャンネル番号	周波数	局	
1	11.72748GHz	BS 朝日	BS-i
3	11.76584GHz	BS ジャパン	WOWOW
5	11.80420GHz	WOWOW★	
7	11.84256GHz	NHK 第一★	
9	11.88092GHz	BS 日本, スターチャンネル, WHC	
11	11.91928GHz	NHK 第二★	
13	11.95764GHz	BS 日テレ	BS フジ
15	11.96600GHz	NHK	

方向：東経 110 度。 ビームの照準点：北緯 31.5 度，東経 134.5 度。

偏波：右偏波。 実効出力：63.2 ～ 64.4dBW。

★印はアナログ放送 (FM-TV) 近年中に停波予定。

表1-9-2 二つのCSサービスの違い

仕様	スカパー! フェイク TV!	スカパー! 110 (e2by スカパー)
使用している衛星	東経 124/128 度の二つの通信衛星	東経 110 度の通信衛星
アンテナを設置する方向	午後 1 時～2 時の太陽方向	午後 2 ～3 時の太陽方向
受信機器	スカパー! 専用チューナ	110 度 CS デジタル対応チューナ
チューナ内蔵機器	なし	110 度 CS デジタル対応 チューナ内蔵テレビ/レコーダ
アンテナ	スカパー! 専用アンテナ	110 度 CS デジタル対応 BS アンテナ
チャンネル数	テレビ：187 チャンネル ラジオ：101 チャンネル	テレビ：69 チャンネル
ハイビジョン放送	なし	4 チャンネル
PPV (ペイ・パー・ビュー)	31 チャンネル	なし

スカパー Web より引用

テナで受信可能な 110 度 CS サービスも始めた関係で (表 1-9-2)、この会社の全放送を受けようとすると三つの方向からの電波を受信する必要があります。

このうちの 124 度と 128 度のそれぞれで使われている JCSAT-3 と JCSAT-4A の二つの衛星からの CS 放送は、2 焦点アンテナ (2 衛星アンテナ) という共用アンテナを使用することが可能です。

最近では通信衛星の能力が上がり、BS 並の CS 放送も可能になりました。元々 CS のほうが決まりは少なく、比較的自由に放送が可能なので、CS であれば国境を越えたテレビの国際放送も可能です。

また、110 度 CS のように、アンテナ方向などの

特性を BS に合わせることで、BS テレビでそのまま CS を受信することができるような衛星放送サービスも始まり、BS と CS の区別はどんどん少なくなっています。



BS 放送受信用のパラボラ・アンテナ (右)

BS 用は CS 用に比べて小サイズでも受信可能。BS はアナログ放送もデジタル放送も同じアンテナで OK。